

令和 6 年 度
普 及 活 動 実 績 集

令和 7 年 3 月

長野県北信農業農村支援センター

目 次

第1 普及活動の成果

1 重点活動課題

シャインマスカットの好適樹相への誘導と省力化による生産安定	1
-------------------------------	---

2 普及活動課題

(1) 人材確保と皆が憧れる経営体の育成	
ア 中核的経営体の育成	3
イ 農業道場等による新規就農者の確保と担い手の育成	6
ウ 女性農業者の育成と地域リーダーの育成	14
エ 中核的経営体の経営発展	18
オ 多様な労力の安定的確保	19
(2) 持続的な農業の取組とデジタル技術等の活用	
ア G A P手法による安全・安心への取組の強化	20
イ 環境にやさしい農業など持続可能な取組の推進	21
ウ 農業のD X化の推進	21
エ 農作業安全の推進	22
(3) 実需者ニーズに対応した北信農畜産物の生産強化	
ア 良食味米や業務用米・酒米など需要に応じた米生産の推進	23
イ 高品質で収益性が高い果樹経営の推進	24
ウ アスパラガス産地の再構築と果菜類の生産振興	26
エ シャクヤク産地の維持・強化と露地花き品目の生産振興	29
オ 畜産物地域ブランドの向上	30
(4) 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり	
ア 農地の利用集積による規模拡大の促進	31
イ 野生鳥獣対策の推進	32
ウ 農業資産・農村資源の活用とP R	33
(5) 食の地産地消の推進と次代への伝承	
ア 農畜産物の魅力を活かした、地産地消・食育の促進	34
イ マーケティング力の強化による付加価値の向上	35

第2 調査研究活動の成果

1 全量基肥一発肥料に上乘せした「追加穂肥」による水稻の品質向上効果の検討	37
2 ぶどう「シャインマスカット」の新梢管理省力化のためのフラスター液剤散布の実証	39
3 ジュース用トマトのマルチ麦を活用したグリーンな栽培体系の検討	41
4 白ネギの緑肥（ヘアリーベッチ）を活用した減肥栽培の検討	43
5 ししこしょうの収量向上に向けたマルチ資材の選定	45
6 ソリダゴの電照栽培におけるLEDを用いた経済性の評価	47

第3 参考資料

1 気象グラフ	49
2 気象状況と災害	50
3 農作物の生育概況と作柄	51
4 支援センターが選ぶ今年度の主な出来事	55
5 管内統計資料	57
6 職員体制と業務分担	59

【重点活動課題】

シャインマスカットの好適樹相への誘導と省力化による生産安定



〈薬剤による新梢管理の省力化〉(1p)



〈動画のワンカット〉(1p)



〈樹相診断指標の説明〉(1p)



〈好適樹相園〉(1p)

人材確保と皆が憧れる経営体の育成



〈農業士協会下高井支部活動
金山駅前マルシェ〉(3p)



〈農業経営者協会活動
社会福祉協議会に農産物提供〉(5p)

北信州農業道場の開講



〈果樹コース〉（7 p）



〈野菜・花きコース〉（8 p）



〈選択講座 農業機械コース〉（9 p）



〈選択講座 水稻コース〉（10 p）



〈選択講座 きのことコース〉（11 p）



〈北信州農業道場 交流会〉（12 p）

青年農業クラブの活動



〈関東ブロック プロジェクト発表〉(13 p)



〈関東ブロック プロジェクト発表〉(13 p)



〈ぽぶり 志村葡萄研究所視察研修〉(13 p)



〈飯水青年クラブ ファーマーズマルシェ〉(13 p)

女性農業者の活動



〈マイスター下高井支部
牛乳・乳製品料理講習会〉(14 p)



〈マイスター下水内支部
牛乳・乳製品料理講習会〉(14 p)



〈農村女性ネットワークたかやしろ
さつまいも料理講習会〉(15 p)



〈北信州農村女性のつどい 分散会 (16 p)

中核的経営体の経営発展・多様な労力の安定低確保



〈農業経営セミナー〉(18 p)



〈カイゼン活動〉(18 p)



〈農作業労働力の確保〉(19 p)



〈農福連携による農作業〉(19 p)

持続可能な農業の取組とデジタル技術等の活用



〈農薬の適正使用講習会〉(21 p)



〈追従型運搬機の実演会〉(22 p)

実需者ニーズに対応した北信農畜産物の生産強化



〈新規導入品種現地検討会〉(23 p)



〈雑草イネ現地調査〉(23 p)



〈クイーンルージュ®栽培講習会〉(23 p)



〈マルチ麦による抑草〉(23 p)

農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり



〈地域計画検討会〉(31 p)



〈青倉米の宣伝活動〉(33 p)

食の地産地消の推進と次代への伝承



〈ししこしょう辛味噌新ラベルデザイン〉(34 p)



〈販路開拓研修会〉(35 p)

雪 害



〈倒壊したぶどう棚〉(50 p)



〈復旧したぶどう棚〉(50 p)

発 刊 に 当 た っ て

1 北信地域の農業

北信地域は、長野県の最北端に位置し、2市1町3村で構成されており、多くの市町村が豪雪地域に指定されています。

この地域の農業は、きびしい自然環境のなかで、農業者と関係者の知恵と工夫により、地域の特徴を活かした先取的な農業が展開されており、水稻、果樹、きのこ類等は、長野県に留まらず全国をリードする産地となっています。

また、全国屈指のスキー場や豊富な湯量の温泉を始めとした観光資源に加え、北陸新幹線などの高速交通網を活かして、観光と連携した農業振興にも取り組んでいます。

本年度の農業生産を振り返りますと、栽培期間中は、大きな降霜や台風などの被害はありませんでしたが、4月以降、秋まで気温が高く推移し、米、果樹、野菜など多くの品目で生理障害が発生しました。加えて、カメムシ類やヨトウムシの大発生など害虫対策にも苦勞の多い年となりました。さらに、12月下旬の大雪により中野市、山ノ内町のぶどう棚が倒壊するなどの雪害が発生しました。温暖化による異常気象に起因するものでもあり、改めて早急に温暖化に対応した技術導入の必要性を感じました。

そのほか、農業従事者の高齢化と減少や、隣県で発生した鳥インフルエンザなど特定家畜伝染病等の拡大、相変わらずの燃油・資材・肥料・飼料の高騰など、農業を取り巻く環境が一段と厳しくなる状況となっています。

このような中、農業農村支援センターとしては、地域振興局各課と連携を密にし、現場に寄り添いながら地域農業や中山間地域が抱える課題に迅速かつ的確に取り組んでまいりました。

2 令和6年度の取組

第4期長野県食と農業農村振興計画と普及活動基本計画に沿って、本年度も「未来につなげ！人と地域が織りなす北信州の食と農」を基本目標として5つの重点推進方策を設定し、農業者や関係機関等と連携・役割分担しながら活動を展開してきました。

特に重要かつ緊急的な課題を重点活動課題として位置づけ、所内プロジェクトチームにより戦略的に課題解決に取り組みました。

(1) 重点活動課題

課題名：シャインマスカットの好適樹相への誘導と省力化による生産安定

栽培面積が増加しているシャインマスカットの生産安定に資するため、取組の3年目となる本年度は、好適樹相への誘導による品質・収量の向上と新梢管理の省力化技術の確立、人材育成による生産体制の改善に取り組みました。

(2) 一般活動

各作目の生産振興や、市町村の地域振興に係る課題などについて、基本計画の5つの重点推進方策を柱に一般活動課題として普及活動を展開しました。

本年度も、関係機関団体が連携して運営する「北信州農業道場」をベースに、経営感覚に優れた農業者の育成に向けた農業簿記講座や、新規栽培者の技術習得に向けた各品目講座を実施し、地域農業をけん引するリーダー農業者と新規就農者の確保育成に努めました。

また、女性農業者のさらなる活躍推進に向けて、農村女性団体の活動支援にも取り組みました。

この他、地域課題に対応する調査研究7課題や現地実証は・試験ほ等については計画どおりに取り組むことができました。

3 今後に向けて

燃油・資材・飼肥料の高騰、地球温暖化の進行、人口減少問題など地域農業に及ぼす影響が大きくなっており、特に、地球温暖化に起因する異常気象や気象災害は、毎年、農業現場に新たな課題を生じさせ、これまで積み重ねた技術のほか、新たな視点や発想での普及活動の展開が求められています。

ここに令和6年度の普及活動を振り返り、その成果を「普及活動実績集」として取りまとめました。

御一読いただき、農業農村支援センター及び普及活動への御理解を深めていただければ幸いです。

結びに、本年度の普及活動に御支援・御協力をいただいた関係機関・団体、農業者の皆様へ深く感謝申し上げ、発刊に当たってのあいさつとさせていただきます。

令和7年3月

長野県北信農業農村支援センター
所長 高橋 敬三